



農家グループに甘草の根の採取方法を伝える宏輝社員のムニス・カリムゾダさん。枯渇しないように、全部を引き抜かず、一定の長さだけ切り取るなどの工夫を指導する



from タジキスタン
Tajikistan

日用品に欠かせない 薬草

お菓子、しょうゆ、風邪薬、シャンプー、スキンケア製品。私たちが使うこれらの日用品には、ある共通の成分がよく含まれている。甘味成分や鎮痛・解毒作用、保湿効果などがあるグリチルリチン酸だ。

そしてそれを生み出す唯一の植物が薬草の一種である「甘草」。マメ科の多年草で高さは約40センチ〜2メートル、四方に1〜2メートルの根を張って生える。この根にグリチルリチン酸が詰まっているのだ。

その甘草からグリチルリチン酸を抽出し、原料として粉末状に精製して国内外の企業に販売しているのが宏輝株式会社だ。1953年に創業し、現在、甘草から抽出する医薬品向け原料では日本最大

の出荷量を誇る。

しかし近年、このビジネスにある不安要素が持ち上がった。これは「これまでは甘草の主な生育地である中国から日本に輸入して加工していましたが、経済成長に伴い中国国内の需要が増加し、甘草の乱獲が進んでいるのです」と同社の伊藤眞取締役は話す。

しかも、甘草はちよつと特殊な植物。乾燥地帯で一定の間に多くの水分を吸収できる場所、つまり、川がよく氾濫する場所に生育することが多く、他の植物のように人工栽培が難しいのだ。そこで宏輝は2005年ごろから、輸入量を確保するために新たな生育地を探し始めた。

まずは、地球の衛星画像を閲覧できるソフト「Google Earth」を使いながら、甘草が生えていそうな場所を探した。すると、中央アジアのタジキスタンに川が蛇行

していて氾濫しやすいな地域が見つかった。「ここしかない」。早速、社員が現地に飛んだ。首都ドゥシャンベから南へでこぼこ道を進むこと約4時間。ハトロン州に到着すると、目の前には大平原が広がり、川沿いにはぎっしりと甘草が自生していた。



人工栽培用のポットは苗床に集め、常に水分を吸収できるように水を張っておく



農家の女性たちも大活躍。甘草の人工栽培に向け、根をポットに入れていく

薬草ビジネスで新たな道を開く

医薬品や化粧品、食品の原料として、甘草を活用してきた宏輝株式会社。新たな生育地としてたどり着いたのは、中央アジアのタジキスタンだ。

大地に眠る宝の山

宏輝はハトロン州を新たな供給源にすべく、タジキスタン政府と交渉を開始。土地の利用権を得て、2010年、現地に甘草の加工工場を建設した。

あとは、いかに甘草を採取するか。宏輝にはある計画があった。「地元の農家は春から秋にかけて小麦や綿花を栽培していますが、冬になると農業ができず収入がない。甘草の採取が、冬の収入源になればと考えました」と伊藤さん。JICAと協働で宏輝のBOPビジネスがスタートした。

まずは農家に参加を呼び掛けるため、説明会を開くことにした。集まったのは約20人のメンバーから成る2つの農家グループ。ここでは、そもそも甘草とは何かから説明する必要があった。というのも、農家の人たちにとって甘草はただの雑草。根がしっかりと張っているのが、農地を耕す時にはむしろ邪魔な存在だった。それが貴重な収入源になることが分かったと、その瞬間から彼らの目が輝き始めた。

そうならば話は早い。耕運機やスコップなどを使い、どのやり方が最も効率よく甘草を採取できるかを農家と話し合い、2013年の冬から、本格的に作業が始まった。

2つの農家グループは、わずか4カ月で6万7000キロを採取。甘草の根を宏輝が買い取り、平均月収は一気に約3倍に増えた。農家グループのリーダーを務めるサマドフ・シヨイルさんは「これまで冬の間は仕事がありませんでしたが、甘草の採取で収入を得られ、日用品の購入に充てることができました」と笑顔を見せる。



ポットに根付いた甘草を土壌に移植。数年後には採取できる見通しだ

さらに宏輝は農家の人々と新たな挑戦を始めた。これまで難しいとされてきた甘草の人工栽培だ。実は宏輝は、かつて甘草の栽培に挑んだ旧ソ連の文献を入手して研究を重ね、約5年前から三重県にある研究施設で試験栽培を繰り返してきた。そして今回、とうとうタジキスタンの大地でそれを実践することにしたのだ。工場の近くに苗床を設け、甘草の根を一定の長さに切ってポットに入れて発芽させる。半年後、ポットに根付き始めたところで土壌に移植し、育てている。

今後、甘草の人工栽培による採取量が増えれば、農家の暮らしはもっと豊かになるはず。宏輝と農家はより良い生活を目指して、二人三脚で取り組みを進めている。

※年間3,000ドル以下で暮らす貧困層 (Base Of the Pyramid) を対象にしたビジネス。

現地に建設した宏輝の工場。甘草の根からグリチルリチン酸を抽出し、加工品を日本へ出荷する

